

〔 火 災 報 知 機 〕

ISSN 0910-4895

NO. 222

JAN | 2021

THE FIRE ALARM SYSTEMS

〈新製品紹介〉最近の消防防災システム紹介シリーズ 78

能美防災株式会社 R-26E火災受信機 (GR型受信機 アナログ式、蓄積式及び自動試験機能付)

巻頭言／「新年のご挨拶」 金森 賢治

令和2年度消防庁長官表彰式について

山形明夫様が黄綬褒章を受章されました

パンフレット紹介

住宅用火災警報器交換診断シート及び設置・交換ガイドブック

工業会だより

- ・理事会 ・業務委員会 ・技術委員会
- ・システム企画委員会 ・設備委員会 ・メンテナンス委員会
- ・住宅防火推進委員会 ・関西支部 ・中部支部

役員名簿／編集委員／編集後記



一般社団法人 日本火災報知機工業会

Japan Fire Alarms Manufacturers' Association

THE FIRE ALARM SYSTEMS

2021年 1月号 No.222

目次

火災報知機

- 1 巻頭言／「新年のご挨拶」 金森 賢治
- 3 特集／最近の消防防災システム紹介シリーズ 78
〈新製品紹介〉
R-26E 火災受信機
(GR型受信機 アナログ式、蓄積式及び自動試験機能付)
能美防災株式会社
- 8 令和2年度消防庁長官表彰式について
- 9 山形明夫様が黄綬褒章を受章されました
- 10 パンフレット紹介
住宅用火災警報器交換診断シート及び設置・交換ガイドブック
- 15 工業会だより
・理事会 ・業務委員会 ・技術委員会
・システム企画委員会 ・設備委員会 ・メンテナンス委員会
・住宅防火推進委員会 ・関西支部 ・中部支部
- 21 役員名簿／編集委員／編集後記





新年のご挨拶

一般社団法人 日本火災報知機工業会

会長 金森 賢治

新年あけましておめでとうございます。昨年は56年振りの東京オリンピック開催、街は各国からの人々で溢れ、日本中が大いに盛り上がりましたね。と新年会の各所で話題になっているはずでした。

ところが、昨年の初めに中国武漢市で新型コロナウイルスが発生し、初めは対岸の火事くらいにしか思っていなかった出来事が、あっという間に世界中に広がり、日本でも「緊急事態宣言」を発令する事態にまでなってしまいました。買い物をしたくても店が開いていない、会いたくても会えない、外食もできない、休日でも繁華街は閑散とし、今までに見たことのない風景を目の当たりにし、こんな状況がいつまで続くのだろうと不安を覚えました。

新型コロナウイルスは飛沫感染ということで、マスクを付けての生活が当たり前になっています。子どもは成長期に、目、鼻、口元で感情を判断し、コミュニケーション能力を養うそうです。しかし、3つの箇所のうち鼻と口元が隠されているため、目だけで人の感情を判断しなければなりません。「目は口ほどに物を言う」ということわざがありますが、人の目だけで感情を判断するのは、大人でも難しい。成長期にコミュニケーション能力が養われないと、人の感情が読めない大人になってしまうのではと心配する声も上がっているようです。

3密を避けることから、会議もweb、親睦を深めるための宴会もできなくなり、人々との信頼関係、友情や愛情などを育む場所がなくなってきました。これからはメールや電話、相手の目を見るときは画面越し、握手もハグもなくなり、落ち込んでいるときに、肩を叩かれて元気になった、こんな事例はなくなってしまうのでしょうか。また、辞めて欲しい社員の肩を叩いて退職を促す「肩たたき」という言葉もありますが、女性の肩を叩いたら、セクハラで訴えられるかもしれません。本当にコミュニケーションの取りにくい世の中になったと思います。

施工担当者の間では、どんなに大変な現場でも「終わらない現場はない」という言葉がよく使われます。それと同じで、人類は、今までにいろいろな病と闘ってきましたが、収束を見なかったことはありません。まだ、いつになるかはわかりませんが、個人も会社も新しい時代に向けて、体力を保持していくことが大切でしょう。幸い、この業界は、観光業や外食業などに比べると、それほどの影響は受けていません。しかし、働き方や生活様式が変化し

ている中で、建物の在り方も変わってきています。それに合わせた新しい商品の開発などが求められるのではないのでしょうか。今年は既設の住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられた最終猶予期限から10年という節目です。「10年たったら取り換える」、これを本年度も更に推し進めていきたいと思っています。

去年は、わが国でも、アメリカでも政権トップの交代がありました。菅氏（72歳）、バイデン氏（78歳）、トランプ氏（74歳）。少し前ならば、引退して隠居生活をしていてもいい年齢です。皆さんがよくご存じの水戸黄門、徳川光圀は62歳の時から、隠居生活を始めています。しかし、この3名は、70代とは思えない体力とバイタリティーで今も走り続けています。現在、ジェンダーを失くそうとさかんに叫ばれています。「もう年だから」という年齢による差別も、これからはなくなっていくように思います。

今年も、コロナ禍ではありますが、皆さんとの連絡を密にとって、業界を牽引していきたいと思っています。皆さんのお力添え、よろしくお願いいたします。



R-26E 火災受信機

(GR型受信機 アナログ式、蓄積式及び自動試験機能付)

能美防災株式会社

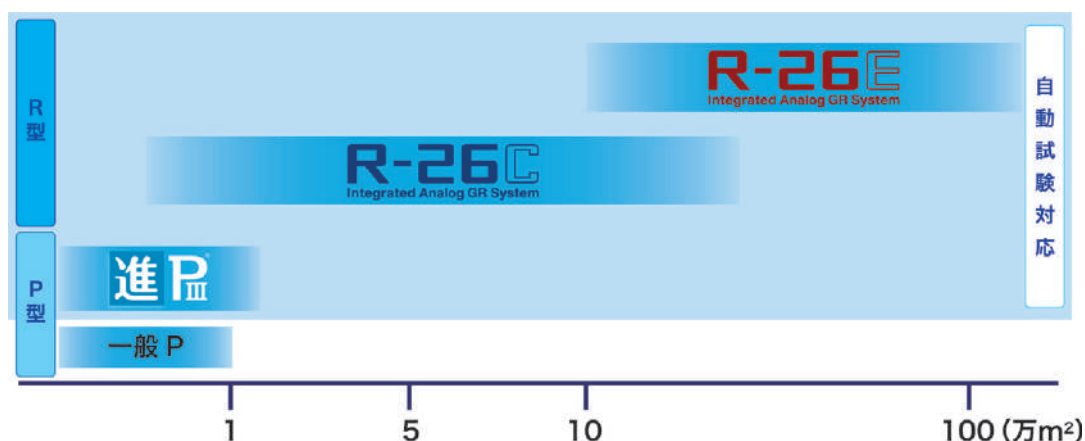
◆はじめに

能美防災株式会社は、R-26シリーズ上位機種 of 分散型火災受信機「R-26Eシリーズ」を発売しました。業界初の【非常電話一体型】受信機を分散型でも実現し、従来品(R-24シリーズ)から機能・デザインを刷新した、R-26シリーズのラインアップを完成させました。

複合GR型システム R-26E ラインアップ

受信機	受信機	主中継器* (LM:リンクモジュール)
 R-26E Integrated Analog GR System	 R-26E Integrated Analog GR System 非常電話一体型	
■ メタルケーブル ■ 光ファイバケーブル シングルモード ■ 光ファイバケーブル マルチモード	非常電話一体型 ■ メタルケーブル ■ 光ファイバケーブル シングルモード ■ 光ファイバケーブル マルチモード	■ メタルケーブル ■ 光ファイバケーブル シングルモード ■ 光ファイバケーブル マルチモード * R-26E/R-26E [非常電話一体型] 受信機に接続できます。 主中継器に非常電話用中継器は接続できません。

これにより、建物規模や用途に応じて、最適なR-26受信機を選択できるようになりました。選択の目安としては、延床面積1万㎡～15万㎡位までの中・大規模建物には集中型R-26C受信機、それ以上の超大規模建物は分散型R-26E受信機を選択します。また、非常電話が設置される場合は、それぞれ【非常電話一体型】受信機が選択できます。



◆特長1 **業界No.1***のシステム容量 *: 2020年12月現在
国内メーカー複合GR型システム 当社調べ

従来から受信機および主中継器の最大系統数を2倍としたことで、将来の100万㎡級（延床面積）の超大規模建物まで1台のR-26Eシステムで一括管理することができます。

最大系統数は従来の**2倍**^{※1}

総系統数: 最大**516**系統

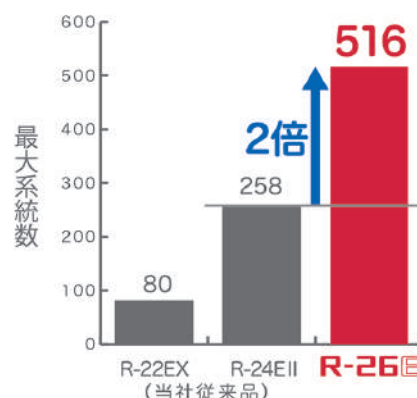
主中継器: 最大**8**系統

受信機は最大4系統（1,020アドレス）、主中継器（LM: リンクモジュール）は最大8系統（2,040アドレス）で64台まで接続でき、システム全体で最大516系統（131,580アドレス）まで対応できます。

※1. (従来品)

R-24E II: 最大258系統 (65,790アドレス)
受信機: 最大2系統 (510アドレス)
主中継器: 最大4系統 (1,020アドレス) × 64台

※2. 国内メーカー複合GR型システム 当社調べ



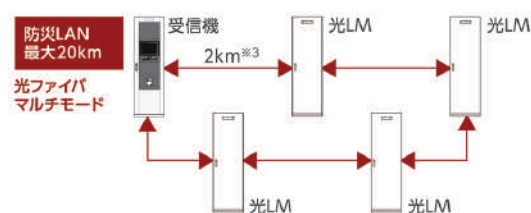
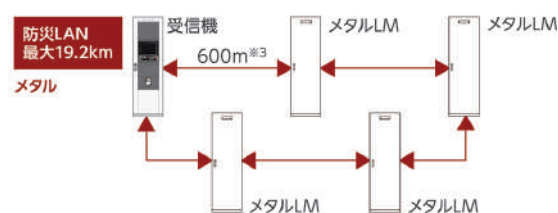
◆特長2 ニーズに合わせて防災LANを選択（メタル／光ファイバ）

最大50kmの防災LANで余裕の広域対応

光ファイバ（シングルモード）では、機器間の距離は最大10km^{※3}まで対応できます。

※3. ・メタル: 最大機器間長 600m 最大ループ長 19.2km

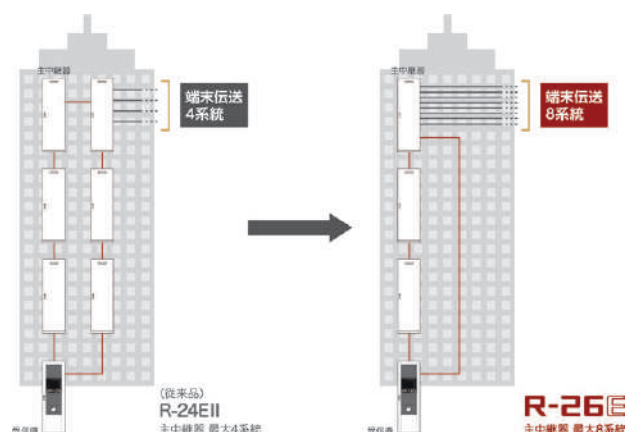
・光ファイバ（シングルモード）: 最大機器間長 10km 最大ループ長 50km
・光ファイバ（マルチモード）: 最大機器間長 2km 最大ループ長 20km
・光ファイバ方式とメタル方式は混在できますが、シングルモードとマルチモードは混在できません。



◆特長3 最適なシステム構築

超高層ビルなどで主中継器の系統数をアップして台数を削減することで、ランニングコスト（定期交換部品）を抑えることができます。

また、工場や空港などの広域建物でシステムリスクを分散したい場合は、系統数を減らして主中継器を増やすことでオールダウンを防止することもできます。



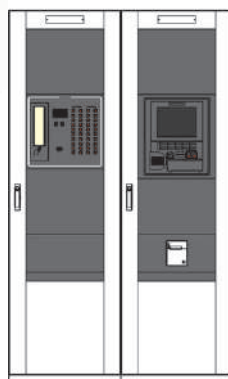
◆特長4 火災受信機と非常電話を一体化【非常電話一体型】

1) 省スペース化・省線化を実現

火災受信盤と非常電話盤を一体化し、非常電話用中継器をローカル設置することで、防災センターのスペースを有効活用でき、省スペース化・省線化を実現しました。非常電話は最大900回線まで接続できます。(非常電話用中継器は主中継器には接続できません)

業界初※

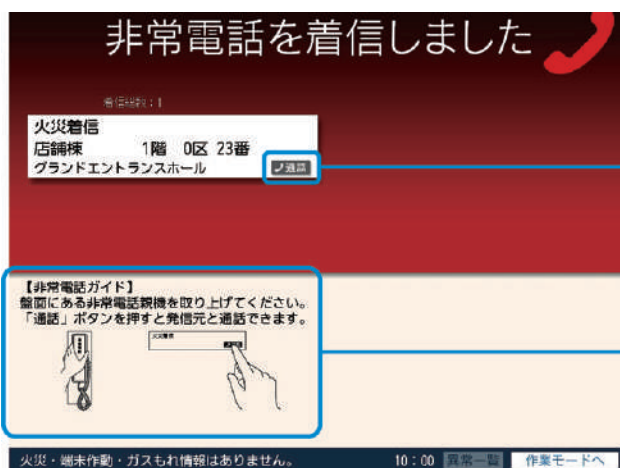
※ 国内メーカー複合GR型システム
当社調べ



【イメージ図】

2) 送受話器を取り上げ、LCD画面で容易に操作

非常電話が着信すると、音声「プルッ、プルッ、プルッ、非常電話を着信しました」が鳴動して火災灯が点灯し、LCD画面内で非常電話着信表示を行います。



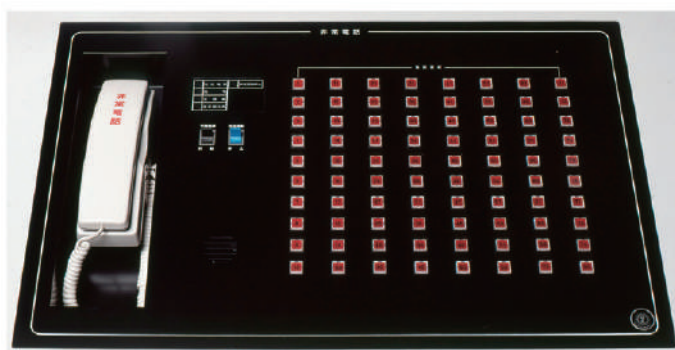
非常電話親機を取り上げ、「通話」ボタンを押す

操作方法をイラストで表示

3) スッキリとした親機操作部

非常電話親機操作部は、回線選択スイッチのないスッキリとした構成とし、表示・操作についてはLCD画面で行います。回線数によらず非常電話親機操作部の大きさは変わらないため、非常電話子機の増設時でも中継器の追加とデータベースの変更で対応できます。

【リレー式非常電話親機】



【R-26(非常電話一体型)】



◆特長5 デザイン性と操作性の追求

1) 重厚感のあるデザイン

盤面は15型の大型LCDを中心とし、表示操作部を黒色で統一することで重厚感を出し、スイッチカバーを無くしてスッキリとしたデザインに仕上げました。

【従来品 R-24】



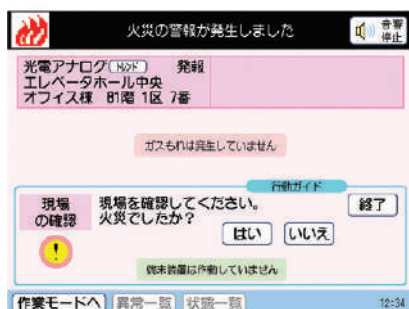
【R-26】



2) 鮮明で見やすい、業界初*の15型大画面 *：国内メーカー複合GR型システム 当社調べ

LCD画面は15型のタッチパネルを採用し、従来品の10.4型と比べて面積は約2倍、画素数は約2.5倍の高画質です。

【従来品 R-24】

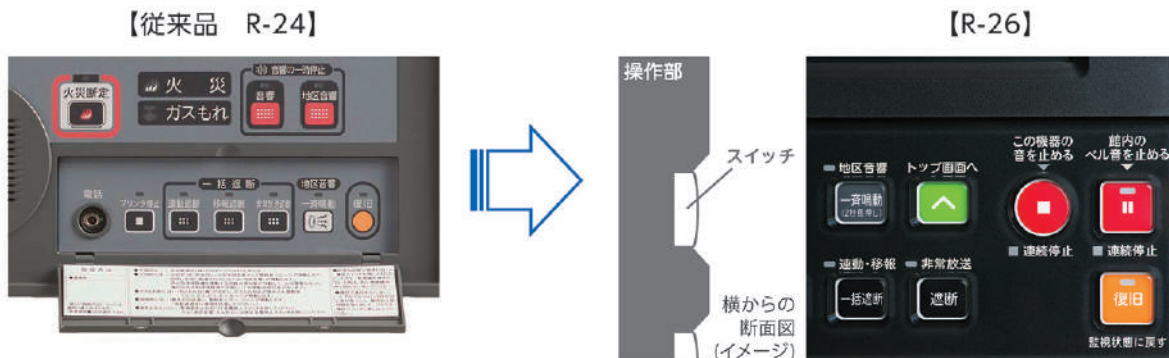


【R-26】



3) スイッチカバーをなくし、高級感のあるデザイン

スイッチはくぼませて誤操作防止を図るとともに、周囲をすり鉢状にくぼめることで指をスイッチ中央に誘導して押しやすくしています。新たに追加した「トップ画面へ」スイッチは、LCD画面内の深い階層から一度の操作でトップ画面へ移動できます。



4) どの機器が作動したか分かる音声メッセージ

防排煙設備や消火設備などの端末装置が作動すると、あらかじめ設定した音声メッセージでお知らせします。従来の「ブー、端末装置が作動しました」から、「ブー、防火戸が閉鎖しました」「ブー、スプリンクラーが放出しました」など設備ごとにメッセージを設定できます。

種別名称 99 種類×状態名称 43 種類の中から組み合わせることができます。



◆おわりに

今回ご紹介させていただいた分散型の「R-26E 火災受信機」は、将来の超大規模建物に対応するだけでなく、ユーザーニーズに合わせて柔軟に設計できるよう、従来からシステム容量を2倍に拡張しました。製品化にあたっては、膨大な情報量を扱うために多くの課題がありましたが、一つずつ丁寧に問題を解決することで、良い製品ができたと自負しております。

今後とも、ユーザーニーズを反映した製品を提供していけるよう、尽力していきたいと思ひます。

令和2年度



消防庁長官表彰式が開催される

令和2年11月6日明治記念館（東京都港区）2階「富士の間」で「令和2年度消防設備保守関係功労者表彰式」、「令和2年度消防機器開発者普及功労者表彰式」（消防長官表彰）が、（一財）日本消防設備安全センター関係の表彰式と合同で開催されました。（一社）日本火災報知機工業会では、消防庁長官表彰に4名の方が受賞されました。誠にありがとうございます。今後とも、なお一層のご活躍をご期待申し上げます。

なお、今年度は祝賀会の開催は中止となり、表彰式場内には受賞者のみの入場、随行者、各団体の役員等の出席の自粛要請など新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催となりました。

〈消防庁長官表彰受賞者（50音順）〉

板谷 敏行	ニッタン株式会社	取締役上席執行役員
諏訪本 篤	ホーチキ株式会社	執行役員 社長室長兼渉外室長
高橋 秀晃	パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社	エナジーシステム事業部 システム機器ビジネスユニット 商品企画部 主幹
西上 佳典	新コスモス電機株式会社	取締役上席執行役員 技術開発本部長



ニッタン株式会社 板谷 敏行 氏



ホーチキ株式会社 諏訪本 篤 氏



パナソニック株式会社 高橋 秀晃 氏



新コスモス電機株式会社 西上 佳典 氏

山形明夫様が黄綬褒章を受章されました

令和2年秋の褒章（黄綬褒章）が山形明夫 ホーチキ（株）代表取締役社長に授与されました。受章おめでとうございます。

同年秋の褒章（消防関係）を受章された方は全員で105名、その内、黄綬褒章を受章され方は8名で、さらに一般社団法人全国消防機器協会の傘下の団体からは3名の方が受章されました。

黄綬褒章は、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方で、特に消防業界の発展、当工業会の円滑な業務の推進等のために多大な貢献をされた方が対象となります。

なお、褒章伝達式及び拝謁は新型コロナウイルス感染症拡大の防止を理由に、大変残念ながら中止となりました。そこで、同協会の橋爪毅会長のはからいにより、11月10日に感染拡大防止対策を踏まえつつ、ヤクルト本社ビル大会議室に受章者及び関係団体の方にお集まりいただき、橋爪毅会長から挨拶が述べられた後、受章者3名にそれぞれ章記の授与が行われました。



章記の授与



記念撮影



山形明夫 様



住宅用火災警報器の新しいパンフレット紹介 住宅用火災警報器 交換診断シート

(一社)日本火災報知機工業会では、住宅用火災警報器の設置維持及び交換促進の必要性を広く啓発するため、毎年広報を展開しています。住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなる恐れがあるため、設置から10年を目安に交換をおすすめしています。この住宅用火災警報器 交換診断シートは、居住者の方に、設置済みの住宅用火災警報器の点検を実施していただき、その結果を判定できるようにしています。このため、居住者の方が設置済みの住宅用火災警報器の状態を把握することが可能となり、交換の必要性等が判断可能となります。今後の住宅用火災警報器の適正な維持管理を行うための一助としてご活用ください。

■ A 4判（1枚）です。「住宅用火災警報器 設置・交換ガイドブック」と併せてご活用ください。



住宅用火災警報器の新しいパンフレット紹介 住宅用火災警報器 設置・交換ガイドブック

住宅用火災警報器は平成16年の消防法改正により設置が義務付けられ、全国の設置率は約80%となっています。住宅用火災警報器の普及が住宅火災の抑制に効果を発揮してきている一方、設置から10年以上が経過している住宅用火災警報器については、電池切れや本体内部の電子部品劣化により性能を十分に発揮できなくなっている可能性があります。

本ガイドブックは、住宅用火災警報器の設置・維持・管理を手助けするとともに、設置から10年以上経過した住宅用火災警報器の交換を促進することで、万が一火災が発生したときに住宅用火災警報器が確実に火災を警報し、火災による被害を最小限にすることを目的としたものです。

住宅用火災警報器の適正な維持管理を推進するためにご活用ください。（ガイドブック「はじめに」より抜粋）

■ A 5判44ページの冊子です。「住宅用火災警報器交換診断シート」と併せてご活用ください。



（一社）日本火災報知機工業会のホームページに掲載しています

URL

<https://www.kaho.or.jp/pages/keiho/page-keiho-07-01.html#poster>

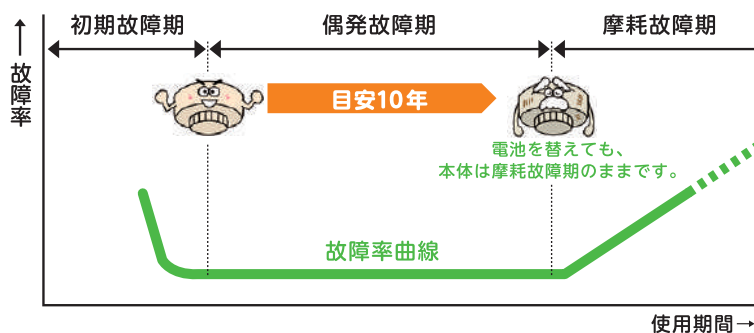
住宅用火災警報器 交換診断シート

この診断シートは長年設置してある住宅用火災警報器の交換が必要かチェックするものです。

設置から10年以上が経過した住宅用火災警報器は、交換診断をおすすめします。

古くなると、電子部品の劣化や電池切れなどで
火災を感知しなくなることがあるんだ。
とても危険だよ！ お宅は大丈夫？

お宅でも
交換診断
してね！



家電製品の標準的な使用期間は、一般的に7年から10年といわれています。住宅用火災警報器も同様です。電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあり、とても危険です。

ご自宅の住宅用火災警報器を点検・確認してみましょう。

1. 点検する

警報器のボタンを押す、
またはひもを引いて音を確認する



「ボタンを押す」



「ひもを引く」

・正常な場合

「ピーピーピー」、「ピーピーピー火事です」、
「正常です」など

※警報音はメーカーや
製品により異なります。

・電池切れの場合

「ピッ… ピッ…」

・故障の場合

「ピッピッピッ… ピッピッピッ…」

※電池のコネクタが、本体にしっかり
差し込まれていないと音が鳴らない
場合もあります。



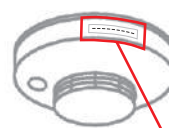
ウェブでブザー音が
確認できます。

とりカエル ブザー音 検索

2. 確認する

警報器の設置年月や
製造年月を確認する

設置年月記入場所



2006年1月設置

製造年月記載場所



(裏面)

製造年月 2007.10

・記入場所はメーカーや製品によって異なります。
・設置後間もなく電池が切れた場合は、
販売店またはメーカーにご相談ください。

お問い合わせ

裏面で住宅用火災警報器の交換診断をしてください。

一般社団法人 日本火災報知機工業会

(表面)

3. 診断する

住宅用火災警報器 診断書の書き方(記入例) 下の記入例を参考に、ご自宅の警報器をすべてチェックしてください。

とりかえ 家の 診断者: とりかえ 診断日: 2019.10.1
住宅用火災警報器 診断書

診断科目	診断場所	部屋名称	警報器の“ボタンを押す” または“ひもを引く” どんな音が鳴りましたか？				警報器の“設置年月”や “製造年月”を確認する 10年経過していますか？		診断結果		
			正常音	電池 切れの音	故障音	音が 鳴らない	10年未満	10年以上	今は 正常	交換を 推奨	すぐに 交換！
寝室	主寝室		☒	☐	☐	☐	☒	☐	☒	☐	☐
	寝室(長男)		☒	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☒	☐
	寝室(次男)		☐	☐	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☒
	寝室(長女)		☐	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒

正常音が鳴動していて、製造後10年未満の場合は、今は正常にチェック！

正常音が鳴動していて、製造後10年以上の場合は、交換を推奨にチェック！

音が鳴らない場合は、製造後の経過年数に関係なくすぐに交換！にチェック！

電池切れ、故障音が鳴っている場合は、製造後の経過年数に関係なくすぐに交換！にチェック！

住宅用火災警報器 診断書

家の 診断者: 診断日:
住宅用火災警報器 診断書

診断科目	診断場所	部屋名称	警報器の“ボタンを押す” または“ひもを引く” どんな音が鳴りましたか？				警報器の“設置年月”や “製造年月”を確認する 10年経過していますか？		診断結果		
			正常音	電池 切れの音	故障音	音が 鳴らない	10年未満	10年以上	今は 正常	交換を 推奨	すぐに 交換！
寝室			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
居間			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
台所			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
階段			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

診断結果に対するアドバイス

今は正常

今は正常です。しかし、故障率が時間の経過とともに増加してくるため定期的な作動確認を行い、10年を目安に警報器の交換をおすすめします。

交換を推奨

設置年数が10年を超えると故障率が時間の経過とともに急激に増加します。火災を感知できない「空白期間」をつくらないためにも、早めの警報器交換をおすすめします。

すぐに交換！

電池を交換しても、その後機器自体が故障する場合があります。すぐに、新しい警報器に交換してください。古い警報器を廃棄する際は、市町村の廃棄ルールに従ってください！



無断複製禁止 2021.01. 200,000 INE

(裏面)



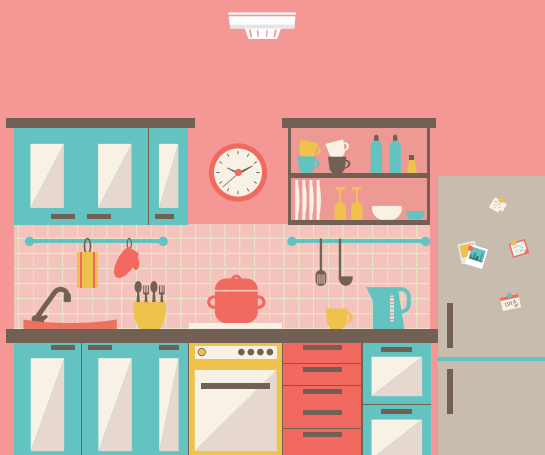
(表紙)



(目次)

警報器が鳴って助かった！ 奏功事例集

大切な家族の暮らしと命を見守る住宅用火災警報器、
その作動により助かった奏功事例をご紹介します。



22

奏功事例① 台所(無線連動型の事例)

台所のガスコンロで魚を焼いている最中に、その場を離れてしまったため、
魚焼きグリルから大量に発煙。

連動型住宅用火災警報器が作動して、別の部屋にいた居住者が早期に
気付いたため、火災には至りませんでした。



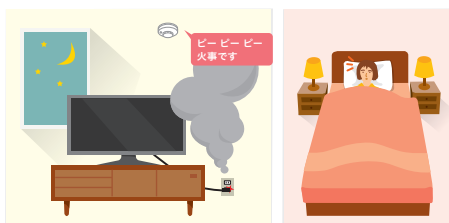
※コンロなどの使用中は、その場を離れないようにしましょう。

出典：京都府

奏功事例② 電源コンセント

就寝中、テレビの電源プラグのコンセント差込口から出火。

住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、消火器で消火しました。



※電源プラグやコンセントは定期的に掃除をして、
ほこりがたまらないようにしましょう。

出典：消防庁住宅防火情報

台所／
電源コンセント
寝たはこ／
電気ストーブ
仏壇／
ごん／
事例も

掲載例
(p.23)

資料編： 住宅用火災警報器の仕組み・ 種類・用語解説・Q & A

住宅用火災警報器に関する技術的な情報ははじめ、関連する法令、
機器ごとの取扱方法を掲載したホームページなどをご紹介します。
住宅用火災警報器について、より詳しく調べたい場合にお役立てください。



26

どうやって火災を見つけるの？

煙の性質

- 1 火災の煙は、火元から天井に昇り、天井面から横に広がっていきます。
その後、煙全体が壁に沿って床面に向けて下がっていきます。
- 2 煙が上昇する時の速さは3～5m/秒で、横に広がる速さは0.5～1m/秒です。
- 3 煙には、一酸化炭素(CO)などの有毒ガスが含まれている場合があります。

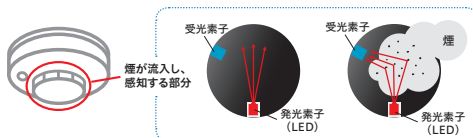


住宅用火災警報器の動作原理

火災警報器は火災の煙を感じる“煙式”、火災の熱を感じる“熱式”があります。

1 煙式の住宅用火災警報器(光電式)

煙が住宅用火災警報器の内部に入ると火災と判断し警報を行います。
煙がない時は発光素子(LED)の光は受光素子に届きませんが、煙がある時は発
光素子の光が煙の粒子に反射して受光素子に届き、煙を検知することができます。
光を利用して火災を検知するため、光電式とも呼ばれます。



2 熱式の住宅用火災警報器(定温式)

熱風が住宅用火災警報器にあたり続けると火災と判断し
警報を行います。
温度を感じるサーミスタという温度計のような電子部品
があり、温度を検知することができます。
一定の温度に達した時に火災と判断するため、定温式とも
呼ばれます。



どうやって
火災を見つけるの？
どんな種類が
ある？
用語解説
Q & A
関連法令
取扱方法
回収・交換
サンプル

掲載例
(p.27)



工業会 だより

(No.222)

理事会

令和2年11月18日

〈審議事項〉

令和3年度予算編成方針（案）について

〈報告事項〉

- (1)令和2年9月度理事会の議事録について
- (2)令和2年10月会計報告について
- (3)新型コロナウイルス感染の影響を踏まえた懇親会等に係る対応について
- (4)事務局長会議等の結果（概要）について
- (5)（一財）日本防火・危機管理促進協会への負担金について
- (6)各種データ報告について
 - ア 検定申請及び受託評価依頼状況
 - イ 合格証票の取次状況
 - ウ 火報工が刊行する基準書等の頒布状況
 - エ 火報工ホームページのアクセス状況
 - オ 住警器相談室の相談受付状況

〈その他〉

- (1)火報工理事会等日程（予定）
- (2)東京消防庁幹部一覧（R02.10.1）

4. 令和2年度消防機器開発普及功労者表彰受賞者の決定等について
5. 協賛事業負担金（シンポジウム負担金）の請求辞退について
6. 火災予防業務協力者等の受賞について
7. 火報工からの連絡等
 - ・工業会発刊の資料配布について
 - ・東京消防庁人事について
 - ・準会員の退会 ニッタン電子株式会社
 - ・準会員の住所変更 株式会社東京信友
 - ・関係先事務所移転について 日本消防検定協会虎ノ門事務所、日本消防設備安全センター
 - ・第59回火災科学セミナー開催のご案内
 - ・令和3年度危険物安全週間推進標語の募集について
 - ・令和2年秋の褒章（消防関係）について
 - ・当工業会ホームページアクセス解析
8. 各種事業への後援、協賛
 - ・ライティング・フェア2021（第15回国際照明総合展）協賛名義使用許可について

〈報告〉 業務委員長 諏訪本 篤

〈委員会開催〉 10月8日、11月12日

業務委員会

1. 総会・理事会の報告について
 - ・令和2年9月度理事会概要報告
2. 住宅用火災警報器関連の報告
 - ・住警器相談窓口の受付件数
 - ・感知器・受信機等の検定申請個数及び住警器等の受託評価・検定依頼個数の推移他
 - ・消防防災用設備等認定及び評定合格数
3. 全国消防機器協会関連会議報告
 - ・消防機器等製品情報センター運営会議結果について
 - ・事務局長会議結果について

技術委員会

1. 火報システム技術検討小委員会
 - (1)受信機検定型式上の取り扱いについて
8月に日本消防検定協会から「受信回路を複数の方式とした受信機及び発信回路を複数の方式とした中継器の取り扱いについて 検警報第164号」が発出され、受信機・中継器の型式試験の受付に関する説明がなされた。内容について9月の技術委員会で周知した。

(2)文化財における課題・実態に関する意見交換会

9月に消防庁主催の「文化財における消防用設備等の課題・実態に関する意見交換会」が開催された。設備委員長、設備副委員長、技術委員長で参加した。首里城の自動火災報知設備に係る整備の考え方について意見交換が行われた。

2. 特小用途拡大検討小委員会

消防庁が取り組んでいる特定小規模施設用自動火災報知設備の基準改正に伴い消防庁及び日本消防検定協会に意見・具申を行った。

3. 連動機構・装置等自主評定委員会

9月に開催した第93回連動機構・装置等自主評定火報専門委員会にて、型式承認1件が受理され、軽補正申請1件、型式更新申請5件の書類審査・承認が行われた。又、10月開催の第74回連動機構・装置等自主評定委員会で火報専門委員会による審査結果の報告を行った。10月には第27回諸規定等改訂WGが開催され「熱・煙感知器連動機構・装置等の設置及び維持に関する運用指針」の改訂に向け自主評定制度の項目について修正箇所の確認を行った。

4. 非常用放送設備専門委員会

電子情報技術産業協会（JEITA）主催による2020年度第2回専門委員会が10月に開催され、当工業会より技術委員長がオブザーバーとして参加した。（会議は新型コロナウイルス感染防止のためWeb会議にて実施している。）非常放送技術基準WG活動報告のほか、非常用放送設備の出荷統計の報告が行われた。

5. 戸外表示器管理委員会

インターホン工業会主催による第28回戸外表示器管理委員会が10月に開催され、当工業会から技術委員長が管理委員会の副委員長として参加した。2019年10月から2020年9月までの活動報告が行われ、委員会で承認された。（2020年3月から9月までの審査会は新型コロナウイルス感染防止のため立ち合い審査を控え審査員による書類審査を実施している。）

<報告> 技術委員長 雨宮 秀人

<開催> 9月17日、10月15日、11月19日

システム企画委員会

1. 火報企画検討小委員会

(9月～11月：7回開催)

光警報装置の設置啓発映像について、主に以下の活動を行った。

(1)映像制作企画

光警報装置の設置効果を施主・ゼネコン・設計事務所・消防職員などにアピールすることを目的とした設置啓発映像の制作企画を行った。制作に際し、光警報装置の製造メーカーであるサクサプレシジョン株式会社にも協力いただくことで合意した。また、映像制作会社2社と、制作の趣旨やポイントとしたい点などについて意見交換を行い、制作会社側から費用見積もりと併せてシナリオなどの提案を頂いた。

(2)試作映像による意見ヒアリング

試作版の映像（ver.0.02）をシステム企画委員会にて確認し、意見を募集した。また、光警報装置の設置啓発活動を進める上で、聴覚障がい者団体の意見を伺っておくべきとのアドバイスもあり、現在ヒアリング内容を調整中。

2. 火報関連システムとの連携調査小委員会

(9月～11月：3回開催)

N T T固定電話のI P網移行に伴い火災通報装置に発生する事象への対応について、主に以下の活動を行った。

(1)残課題の整理

火災通報装置に関しての現状把握と、今後の課題を整理した上で、消防庁へ説明に行くこととし持参する資料について再整理を行っている。

N T Tの仕様書である「技術参考資料」も、まだ改定内容や時期が明確にされていないことから、I P網移行後に実際の機器で確実に動作できることを確認する必要があることや、I P網移行後のシステム的な動作と現行の告示基準との間で不整合が生じないかなど、論点を整理しており、課題を消防庁と共有することとしたい。

(2)消防庁予防課への訪問

消防庁より改めて、本事象に関する原因の見解について確認したいと依頼があったため訪問した。

N T T インターフェース仕様書において、過去から現在に至るまで「通話路の保留」「保留呼び返し」機能の動作が記載されていることを確認頂いた。また、消防庁予防課の担当者が今年異動されているため、「2019.5.9付 消防庁殿の資料に対する日本火災報知機工業会の見解について」に基づき、当工業会が、本事象の原因は、N T T 固定電話の I P 網移行に伴い、通報者と再通話ができる仕組が切り替わることにあり、と考えることを確認頂いた。

なお、(1)の残課題については、改めて説明に伺いたい旨をお願いし了承された。

3. 火報システム自主管理専門委員会

12月の本委員会に向け、今年度の第2回専門委員会を開催した。主な議事は以下の通り。

(1)登録・申請状況の確認

今年度の受講者（新規：25期、更新：1、6、11、16、21期）の登録申請書類、及び各社の申請書類を相互に確認、不備事項についてフィードバックした。

(2)講習会実施報告

各社から今年度の専門技術者講習会実施状況をプレゼン報告した。

＜報告＞ システム企画委員長 上田 毅

＜開催＞ 9月25日、10月23日、11月27日

設備委員会

1. 設備性能基準化小委員会活動報告

(1)建築設備計画基準、設備設計基準（令和3年版）【改定二次案】意見照会について

①8月21日に正副委員長、事務局で国土交通省 設備・環境課へ訪問、7月10日に続いて2回目の意見交換を行いました。

②「自動火災報知設備」の計画更新周期が改定二次案でも25年で変更されなかったことから、自動火災報知設備の重要性を

説明、交渉を重ねた結果、計画更新周期表より「自動火災報知設備」の記載を削除することになりました。

(2)「公共建築工事標準仕様書、改修工事標準仕様書、標準図（電気設備工事編）平成31年版」の改定意見募集対応について

6月に提出した意見書説明のため、9月30日に正副委員長、事務局で国土交通省 設備・環境課を訪問しました。

提出した意見書の他に意見照会の確認依頼があり、11月10日の小委員会審議後に国土交通省へ回答しました。

(3)文化財等における消防用設備等の対応について

①文化財等における消防用設備等の課題・実態に関する意見交換会（第4回）

開催日：9月14日

主催：総務省消防庁 予防課設備係

参加者：消防庁3名、文化庁3名、東京理科大学 関澤教授（首里城復元に向けた技術検討委員）、消火装置工業会3名、火報工3名

消防庁より沖縄総合事務局の首里城復元に関する説明、意見交換を実施しました。

②文化財における消防用設備等の施工基準等の意見交換について

開催日：10月20日

主催：総務省消防庁 予防課設備係

参加者：消防庁3名、消火装置工業会3名、火報工3名

打合せ内容は、これまでの経緯説明も踏まえた対応状況の確認でした。

文化庁も含め施工基準等の意見交換を11月に実施することになりました。

③文化庁との施工基準等の意見交換について
開催日：11月17日

主催：総務省消防庁 予防課設備係

参加者：文化庁3名、消防庁2名、消火装置工業会3名、火報工3名

火報工から「文化財等における自動火災報知設備の整備・強化について（案）」を提示し、意見交換を実施しました。

文化庁からは、「文化財の整備事業(防

災施設等）指針策定に係る協力者会議」にオブザーバーとしての参加要請がありました。

指針策定期間は、12月から令和3年3月31日予定。

2. 工事基準書小委員会活動報告

「工事基準書ハンドブック（平成30年版）」の改訂方針を審議しました。

平成30年版が現在残り1500冊、年800冊ペースで出庫されていることから、2年後の令和4年10月発刊目標で活動する。

また、ハンドブックの内容をスマホ、タブレット等で閲覧できるよう電子書籍化も検討します。

＜報告＞ 設備委員長 石中 良治

＜委員会開催＞ 9月24日、10月22日、11月26日
(9月は、資料配布による書面会議)

メンテナンス委員会

1. 点検実務検討小委員会報告

1) 点検報告率向上のための啓発パンフレット作成

点検未実施の建物関係者に、点検の重要性を啓発するためのパンフレットの作成を行っている。

点検を実施しなかったことで生じた不具合事例を複数掲載し、点検未実施の建物関係者にパンフレットを届けるための方法について検討を行っている。

2. 維持運用管理手法小委員会報告

1) 非火災報対策マニュアルの改訂について

中小規模物件の関係者をターゲットと想定し、自火報設備のシステム構成やトラブル対応について、わかりやすい構成と内容とする方針である。現在は全体構成の見直しを進めている。

2) 非火災報についての資料

静岡県設備協会・保守業務研修会として1月22日に非火災報に関する講演を依頼された。

この講演会用資料をブラッシュアップすることで、非火災報の解説資料の作成し火報工ホームページに掲載する。

＜報告＞ メンテナンス委員長 成宮 淳一

＜委員会開催＞ 9月15日、10月20日、11月17日

住宅防火推進委員会

1. 住宅防火対策推進協議会の行事について

住宅防火対策の重要性を周知し、住宅用火災警報器、住宅用消火器及び防災品等の普及を図るとともに、住宅における防災対策も含めた住宅防火防災対策の積極的な推進を目的とし、2020年度も住宅防火対策推進協議会から協力依頼がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大及び緊急事態宣言を受けて開催中止の連絡がありましたが、CATV等の撮影の協力依頼がありました。

①那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会（CATV等）について

10月19日（月）に大田原市那須地区消防本部にて那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会が開催され、工業会からは1名が出席、住宅用火災警報器のチェックを実施して頂くために交換診断シートを作成、工業会のHPからダウンロード可能な紹介を行いました。

②座間市消防本部CATV事業について

11月14日（土）に座間市消防本部にて住宅防火広報及び住宅用防災機器紹介のCATV事業が開催され、工業会からは1名が出席、住宅用火災警報器のチェックを実施して頂きたい旨を説明、チェックを実施して頂くための交換診断シートを作成した事と工業会のHPからダウンロード可能な紹介を行いました。

2. 「新たな住宅防火対策の策定に向けた調査研究」委員会（第1回）について

東京消防庁より「新たな住宅防火対策の策定に向けた調査研究」委員会の委員として参加依頼があり、工業会からは1名が8月20日（木）の

Web会議に参加、他の参加委員は3名で消防研究センターや東京理科大学の准教授になります。

調査研究のテーマは2項目で早期感知・報知に関するシステム・センサーの情報収集や住宅防火支援用データセットの作成と検証になり、今後、年度内に2回の会議予定です。

3. 北海道・東北ブロック女性防火クラブ幹部地域研修会報告について

9月10日（木）に青森市ラ・プラス青い森にて北海道・東北ブロック女性防火クラブ幹部地域研修会が開催され、工業会からは1名が出席、「住宅用火災警報器の機能説明」という内容の説明資料を基に情報提供（火災状況、設置効果、点検・交換や交換診断シートに関する啓発活動）の講演を行い、参加者はコロナの影響で人数が制限され、全体で約60名でした。

4. 第15期東京都住宅防火対策推進協議会（第4回）報告書について

9月23日（水）にスクワール麹町にて第15期東京都住宅防火対策推進協議会（第4回）が開催され、工業会からは1名が委員として出席、本来は3月に開催予定でしたが、コロナの影響で開催時期が延期となりました。

報告書（案）の「住宅用火災警報器の設置促進及び適切な維持管理方策について」説明があり、調査を実施した中で設置率は約9割と高い水準でありながら、作動確認実施率及び10年交換推奨の認知率が5割に満たないという結果が示され、課題として住宅火災の被害軽減は設置後10年での本体交換や定期的な点検の必要性を住民に周知していく必要があるとの説明がありました。

5. 第112回全国消防長会予防委員会の開催について

10月13日（火）に石川県小松市にて開催予定だった第112回全国消防長会予防委員会が新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から10月30日（金）に書面会議による実施になりました。

工業会からは「住宅用火災警報器 2020年度交換促進広報展開について」という内容の情報資料を提出しました。

6. 第11回東京都消防長会住宅用火災警報器対策連絡会について

第11回東京都消防長会住宅用火災警報器対策

連絡会が書面会議にて開催され、工業会からは「住宅用火災警報器に関する取り組み等について」という内容の情報資料を提出しました。

消防庁予防課からは「住宅用火災警報器の設置率等と推進状況等について」の情報提供があり、資料の中には住宅用火災警報器 交換診断シートの紹介があり、工業会のHPで公開中との記載がありました。

7. 第10回住宅用火災警報器設置対策会議報告について

10月30日（金）にニッショーホールにて消防庁主催の第10回住宅用火災警報器設置対策会議が開催され、工業会からは2名が委員と随行者として出席、議事の中の住宅用火災警報器の設置率等の項目で作動確認を行った世帯の約2%で住宅用火災警報器の電池切れや故障が確認されたとの報告がありました。

義務化から10年以上経過した住宅用火災警報器の検定申請数は約7,123万個あり、仮にその2%とした場合、約140万個程度になります。

8. 住宅用火災警報器の電話相談受付件数

7月39件、8月29件、9月47件、10月81件となり、7月から10月までの件数は196件となりました。又、9月より問い合わせ内容の抜粋を紹介しています。

<報告> 住宅防火推進委員長 山本 浩史
<委員会開催> 9月30日、10月28日、11月25日

関西支部

第375回関西支部定例設備委員会を開催（令和2年9月10日）

- (1)調査研究事業「派遣講師支援用として消防設備士再講習用教材」について審議
- (2)調査研究事業「4政令指定都市消防局との業務懇談会」について審議
- (3)啓発宣伝事業「住宅用火災警報器の啓発宣伝用リーフレットグッズ等の作成」について審議

第440回関西支部定例役員会を開催（令和2年9月17日）

- (1)調査研究事業「派遣講師支援用として消防設備士再講習用教材」について審議
- (2)調査研究事業「4政令指定都市消防局との業務懇談会」について審議
- (3)啓発宣伝事業「住宅用火災警報器の啓発宣伝用リーフレットグッズ等の作成」について審議

**堺市消防局との業務懇談会を開催
(令和2年10月6日)**

消防局、工業会総勢15名が参加し、双方の質疑事項、要望事項、情報提供などについて意見交換

**第376回関西支部定例設備委員会
(令和2年10月15日)**

- (1)大阪市消防局との業務懇談会最終打合せ
- (2)令和3年度設備委員会事業について審議

**大阪市消防局との業務懇談会を開催
(令和2年10月15日)**

消防局、工業会総勢12名が参加し、双方の質疑事項、要望事項、情報提供などについて意見交換

**関西支部設備委員会研修事業
(令和2年10月16日)**

一般社団法人全国消防機器協会が主催する消防機器等に関する研修会を聴講

**京都市消防局との業務懇談会を開催
(令和2年10月29日)**

消防局、工業会総勢14名が参加し、双方の質疑事項、要望事項、情報提供などについて意見交換

**第377回関西支部定例設備委員会を開催
(令和2年11月12日)**

- (1)神戸市消防局との業務懇談会の最終打ち合せ
- (2)令和3年度設備委員会事業について審議
- (3)啓発宣伝事業「住宅用火災警報器の啓発宣伝用リーフレット、グッズ等の作成」について審議
- (4)講師打合せ懇談会の開催について審議

**神戸市消防局との業務懇談会を開催
(令和2年11月12日)**

消防局、工業会総勢14名が参加し、双方の質疑事項、要望事項、情報提供などについて意見

交換

**第441回関西支部定例役員会
(令和2年11月19日)**

- (1)啓発宣伝事業「住宅用火災警報器の啓発宣伝用リーフレット、グッズ等の作成」について審議
- (2)令和3年度設備委員会事業について審議
- (3)令和3年度関西支部予算要望について審議
- (4)講師打合せ懇談会の開催について審議

中部支部

**地区別業務運営懇談会
(令和2年9月10日)**

令和2年度地区別業務懇談会を火報・消装合同で開催

- ・名古屋市消防局の提出議題について
- ・日本火災報知機工業会の提出議題について
- ・日本消火装置工業会の提出議題について
- ・工業会中部支部の提出質疑事項について
- ・その他

**火報・消装合同役員会
(令和2年10月26日)**

- (1)令和3年新年互礼会の開催自粛について
- (2)令和3年度予算（案）について
 - ・2年度の事業実施内容と3年度事業計画における考え方等
- (3)令和3年度火報・消装定期総会開催（案）について
 - ・開催日時、場所、経費について
- (4)その他
 - ア 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰受賞について
 - イ 一般財団法人愛知県消防設備安全協会定例表彰について

役員名簿

〈令和3年1月1日現在〉

役 職 名	常勤・非常勤	氏 名	所 属
理事（会 長）	非 常 勤	金 森 賢 治	ホーチキ（株）代表取締役会長
理事（副会長）	非 常 勤	伊 藤 龍 典	能美防災（株）代表取締役社長
理事（副会長）	非 常 勤	板 倉 秀 樹	ニッタン（株）代表取締役会長
理事（専務理事）	常 勤	浅 川 修	一般社団法人日本火災報知機工業会
理 事	非 常 勤	遠 山 榮 一	日本ドライケミカル（株）代表取締役社長
理 事	非 常 勤	田 原 仁 志	日本フェンオール（株）代表取締役社長
理 事	非 常 勤	矢 口 孝 仁	日信防災（株）代表取締役社長
理 事	非 常 勤	谷 口 尚 史	パナソニック㈱ライフソリューションズ社 エナジーシステム事業部 システム機器 BU 長
理 事	非 常 勤	伊 藤 郁 夫	ヤマトプロテック（株）監査役
監 事	非 常 勤	藤 倉 大 樹	藤倉電気工業（株）代表取締役
監 事	非 常 勤	鈴 江 昭	中央報知機（株）代表取締役

備考：専務理事は事務局長兼務

編集委員

委員長 諏訪本 篤（ホーチキ株式会社）
 委 員 高橋 薫（能美防災株式会社）
 中沢 崇（ニッタン株式会社）

委 員 青木 良二（パナソニック株式会社
 ライフソリューションズ社）
 佐野 祥一（事務局）

■ 編集後記 ■



拭き掃除は一方向に

自然界には、人の免疫力を保つために必要な細菌が存在します。大切なのは人にとって必要なものとは共生し、不要なものは遠ざける、それを実現するのが「掃除」です。

掃除前に換気をしてホコリを拡散したり、水拭きで塗り広げるのはNGです。乾いた布で拡散せず回収します。拭き掃除も往復で拭くとウイルスや細菌、カビなどを拭く動作の折り返し地点におきざりにしてしまうので一方向拭きをします。感染症を予防するには、まず正しい方法で掃除し、身の回りを清潔にすることが大切です。

（佐野）



一般社団法人 日本火災報知機工業会
Japan Fire Alarms Manufacturers' Association

発行 一般社団法人 日本火災報知機工業会
〒110-0016
東京都台東区台東 4-17-1 偕楽ビル（新台東）
電話 (3831) 4318 (代)
URL <https://www.kaho.or.jp/>
印刷 株式会社アイネット
令和3年1月15日 印刷 令和3年1月15日 発行